



オアシス

文責：副学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2021年7月31日発行 第39号

オリンピック・パラリンピック東京大会2020が開幕しました。コロナ禍の開催にあたっては、賛否両論がある中でもあり、複雑な心境で観戦されている方も多いのではないかと思います。しかし、一度始まってしまえばアスリートの皆さんの真剣な眼差しや態度に感動する場面が沢山あり、毎日のTV観戦が楽しみとなっています。アスリートの皆さんの、ここに至るまで自己を極限にまで追い詰め、努力を積み重ね競技に立ち向かう姿には、私たちにも勇気を与えてくれているように思えます。

◎ iPhil 第24回定期演奏会が開催される！

出雲フィルハーモニー交響楽団による定期演奏会が2年ぶりに開催されました。昨年はコロナ感染症により公演が中止されましたが、今年は、コロナ禍ではありましたが、感染対策を徹底し開催にこぎつけることができました。そして、出雲市民会館開館40周年記念事業として開催することもでき、花を添えていただきました。

定期演奏会の特徴として、演奏者の皆さんには、毎年セミナー方式をとっていただいております。指揮者である中井芸術監督による指導のもとにセミナーを開催し、その成果発表を兼ねているのが定期演奏会となっています。普段は、地元のアーティストで構成されるチェンバーオーケストラを中心に、本アカデミーの別科「オーケストラ・レパートリー」の受講生で練習を重ねていますが、本番前には、セミナーに広く参加者を募ります。オーケストラの醍醐味を体感できるため希望者も多く、まさに開かれた出雲フィル体制が出雲の地に存在していることを誇りに思う次第です。今回のプログラムは、「来たれ！！英雄」～まだまだ250歳！！～のキャッチフレーズのもと、ベートーヴェンを中心に構成されました。

1曲目は、現代の作曲家“西村 朗”氏による「ベートーヴェンの8つの交響曲による小交響曲」です。ベートーヴェンは9つの交響曲を作曲していますが、この作品は最後の交響曲第9番「合唱」に向けて、それまでの1番から8番までの各フレーズが散りばめられた斬新な構成となっている作品です。一言でいえば、通称第九に向けた序奏の形態となっている作品といえます。実際に演奏を聴くとベートーヴェンの作品が現代感覚風に変化し、とても魅力的なサウンドになっていることに興味を持ちました。

2曲目は、G・ガーシュウィン作曲の「ラブソディー・イン・ブルー」



裏面へ

です。ピアノ協奏曲の選曲にあたっては、ベートーヴェンが真の自由と平等の精神を貫いた精神の持ち主であることから、アメリカ建国の精神に通じることもあり、プログラムに変化をもたらすことも考慮し、クラシックとジャズが融合する作品が選ばれました。ピアニストには、出雲市出身の新進気鋭の“金 悠里”氏が起用され、若くエネルギー溢る演奏に会場から大きな拍手が鳴りやまず、ピアノ独奏によるアンコールを披露され、聴衆に誠意のある演奏で応えていました。

プログラム最後は、ベートーヴェン作曲の「交響曲第3番変ホ長調 作品55」《英雄》です。この曲は、ベートーヴェンにとって転機となる作品といえます。それ以前の作品は、ハイドンやモーツァルトの雰囲気漂う曲想ですが、この《英雄》ではベートーヴェン独自の作風が構築されたといっても過言ではありません。その理由には諸説あると思いますが、当時の時代背景（フランス革命等）やベートーヴェン自身の思想が強く反映されたため、作品の変化につながったことと思われる。《英雄》を聴くたびに、コロナ感染症に打ち勝つためには、私たちが不屈の精神で限界に挑戦しなければならないことを教示してくれているように思えてなりません…。

アンコールは、当公演の前日に東京五輪の開会式でも採用されたゲーム音楽の「英雄の証」をオーケストラ演奏で盛大に締めくくりました。コロナ禍での公演となりましたが、727名もの皆様に来場いただき、感謝の気持ちでいっぱいでした。また、出雲フィルのメンバーも、久しぶりの生演奏の感触を肌で感じ、指揮者“中井章徳”氏の熱の入った指導とリハーサルを繰り返し、その成果を本番でいかんなく発揮できたことに喜びを感じている姿が印象的でした。

なお、公演後「託児室ミニミニコンサート」が開催されていることをお伝えします。毎回、公演の折には、演奏会を気兼ねなく鑑賞していただくために、就学前のお子様をお預かりする託児サービスを実施しています。このサービスを実施するには、保育士の皆様のご協力が欠かせません…。小さな子どもたちも数時間保護者から離れ、それなりにストレスを抱えていることと思われます…。そのため、ささやかではありますが出雲フィルメンバーによるミニミニコンサートを開催し、今回は、トロンボーンの皆さんによるコンサートでした。本公演を聴けなかった子供たちにも音楽の感動体験を少しでも味わってもらえたなら幸いです。

最後に、公演を支えていただいたスタッフの皆さんと、アカデミー事務局の皆さんのご労苦に対し感謝の気持ちを忘れてはならないと思います。ありがとうございました！



お知らせ！ 第2回LPレコード音楽サロンが開催されます。詳細は、HPでご確認ください。

【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <https://www.izumo-zaidan.jp/academy/>】